



こっこーま

子育て支援センターは
妊娠中から育児中のご家族の
子育てを応援します。



子育てに不安や悩みはありませんか？

「なんでも相談できる場」「子育て仲間と出会える場」「親子であそべる場」

「ママ・パパのリフレッシュの場」としてお気軽にご利用くださいね。

たくさんの親子との出会いを楽しみにしています。

利用案内

【午前の部】 月曜日～金曜日	9:00～12:00 0～就学前の親子
【午後の部】 月曜日・水曜日・金曜日	14:00～16:00 0～2歳児の親子のみ
<p>☆火曜日・木曜日の午後は、サークル支援、育児相談等のため一般の利用はお休みです。</p> <p>○園庭開放(保護者同伴)…午前10時～11時</p> <p>○相談事業……………午前10時～午後4時</p> <p>○休業日…土、日曜日・祝祭日・年末年始・慰霊の日</p> <p>※妊婦さんも遊びに来てね。お待ちしております。</p>	

5月の予定

- 1日(金) 開所記念日(こっこーま26周年)
- 11日(月) 絵本の読み聞かせ 午前11:00
- 13日(水) 育児講座 午後2:30
※要申し込み
- 20日(水) 誕生会 午前10:45
- 21日(木) ベビーマッサージ 午前10:30
※要申し込み
- 25日(月) マタニティカフェ 午前10:00
育児講座おくるみタッチケア
(妊婦さん対象) ※要申し込み
- 27日(水) 保育コンシェルジュ相談 午前10:30

子育て支援センター利用の心得

- 同伴するお子さんの安全面への配慮は忘れずに行きましょう。
- お子さんが体調不良時や、感染症になった場合は、ご利用を控えて頂きます。(水ぼうそう・とびひ・おたふく風邪・手足口病・感染性胃腸炎・結膜炎・麻疹・インフルエンザ・コロナ感染症など)
- 飲み物、着替え、手拭き、ビニール袋などは、各自持参しましょう。
- 室内での水分補給以外の食事はお控えください。

おねがい

- *令和8年度の利用者登録をお願いします。継続利用の方も再登録が必要です。
- *来所時には、利用者受付簿に名前の記入をお願いします。
- *行事のご予約は、月初めより受付します。来所してお申し込み下さい。
- *駐車場は、数に限りがあります(6台) 他にご案内できる駐車場はありませんのでご了承ください。

身体測定しています


いつでも出来ます。希望される方は気軽に担当まで声をかけてくださいね。

絵本の読み聞かせ


5月11日(月)
午前11:00～11:30
講師: 川平栄子氏
費用: 無料



ベビーマッサージ

5月21日(木) 
午前10:00～10:30
対象: 12ヶ月迄のお子さん
持ち物: バスタオル
講師: 宮地春奈氏
費用: 無料
※要申し込み

誕生会

5月20日(水) 
午前10:45～11:15
*参加する5月生まれのお子さんは15日までに申し込み下さい。3組まで。
費用: (誕生カード代¥200)



育児講座・マタニティーカフェ

「おくるみタッチケア」

おなかの中にいた体勢を、おくるみで包み
再現することで、赤ちゃんが安心して眠りやすくなる
タッチケアを体験してみませんか♡

日時：5月 25日(月) 10:30~11:30

講師：日高 鈴佳氏 (RTA 認定講師)

対象：妊婦さん

持ち物：大きめのバスタオル 2枚

※要申し込み (お問合せ下さい。)



活動の様子



川平栄子氏による絵本の読み聞かせ



誕生会



親子でこいのぼり製作



育児講座

小児科医によるおはなし会

知っておきたい

「こどもの皮膚のしくみ」

～皮膚バリアと湿疹・アトピー～

日時 5月13日(火) 14:30~15:30

講師 小児科医 川満桐子氏 (ぬちぐすい診療所)

※要申し込み 費用：無料

支援センター職員紹介

- ・平良 真生
 - ・田本 久美子
 - ・具志堅 恵子
 - ・山本 育子
 - ・神谷 尚美
 - ・仲吉 隆子
 - ・海老沼 優花
 - ・櫻井 香菜子
- どうぞよろしくお願ひします。



～赤ちゃんへの語りかけと遊び～

言葉を話せなくても、赤ちゃんはママやパパからの語りかけを受け止めています。
シンプルな語りかけとあそびを通じて、気持ちのやりとりを楽しんでいきましょう。

●語りかけ育児のすすめ

子どもと一対一で向き合い、一日30分語りかけを行う「語りかけ育児」は、子どもの情緒を安定させ、言語の発達を促すなどの効果が期待できるといわれています。いつもの育児の中の、なにげないやりとりを通じた語りかけで十分です。「おむつかえようね」「ミルク、飲もうね」「抱っこするよ」「ねんねしようね」など、今からする行動を伝えるなど、状況に合わせた語りかけをするといいでしょう。



●語りかけのポイント

生まれて間もない赤ちゃんは視力が未発達なので、近くにいる人の顔を認識できません。語りかける際には、赤ちゃんに伝わりやすいように、抱っこしたり、身振り手振りを加えたりしながら語りかけるとよいでしょう。また、赤ちゃんが聞き取りやすい音の周波数は大人より高めなので、抑揚をつけた高めの音で、ゆっくり語りかけることもポイントの一つです。



●様子をよく観察する

大人から一方的に語りかけるだけでなく、赤ちゃんの発声や表情、行動を見て対応します。喜んでいたら、「うれしいね」ぐずっていたら「イヤなんだね」と、赤ちゃんが感じていることを「言葉」にかえて語りかけましょう。「聞いてくれている」という安心感とともに、コミュニケーション取ることが楽しいと感じ、より伝える意欲が生まれてきます。

●スキンシップも一緒に

赤ちゃんは、皮膚の刺激に敏感で。優しく触れられ、抱っこされることで心地よさを感じます。衣類の上からでも、肌に直接でも、優しく語りかけながら触れてあげましょう。「こちょこちょ～」とするくすぐり遊びなど、からだを動かせるあそびが赤ちゃんは大好きです。

●絵本の読み聞かせとうたいかけ

親子のコミュニケーションツールとしても、五感を刺激するあそびとしても、0歳児のうちから絵本を身近に置くことで赤ちゃんは絵本に興味を湧いてきます。一緒に読むことで親子の信頼が深まり、愛着形成をする機会となります。なかなか泣き止まない時や、眠いとき、なにか話しかけてあげたいときには子守歌や遊び歌など、さまざまな歌を歌ってあげましょう。